

令和 8 年 2 月 25 日

見附市議会議員 様

見附市議会議員 五十嵐 遼

### 一 般 質 問 通 告 書

下記のとおり質問したいので、会議規則第 6 1 条第 2 項の規定により通告します。

質問事項 (主題を記載してください。議場配布の一覧表に印刷)

【 1 】 第 6 次見附市総合計画初年度の施策の実行について

答弁を求める者 市長、教育長

令和 8 年度は、第 6 次見附市総合計画のスタートと稲田市長が 2 期目の当初予算を編成し執行する、いわば「実行の初年度」です。新規・拡大事業が並ぶ一方で、人口減少や担い手不足、歳出超過リスクなど、市政運営は厳しさを増しています。だからこそ重要なのは、事業を“やること”ではなく、何をもって成功とし、どの指標で効果を検証し、結果が出なければ改善・見直しできる設計になっているかです。

今回は第 6 次見附市総合計画と令和 8 年度当初予算を成果につなげる観点から、以下お伺いします。

1 「活力とにぎわいあふれるまちづくり」について

(1) 新規事業の「移住促進フォロー体制の充実」は、相談窓口を手厚くすることで“移住が増える”という設計ですが、その因果関係をどのように検証するのか。さらに、外部事業者と連携するとしていますが、委託内容は「相談対応の人員確保」だけではなく、移住決定率を上げるための分析・改善提案等どこまで求める契約を考えているか、伺います。

※ 番号のつけ方 (大項目) 1 2 3 (中項目) (1) (2) (3) (小項目) アイウ



(2) 学校再編を踏まえた移動手段、高齢者の移動支援、夜間公共交通の不足といった複数の課題を横断し、公共交通ネットワーク全体をどう再設計していくのか。また、国の支援制度をどのように活用し、交通空白の解消を具体的に進めるお考えなのか、見解をお聞かせください。

2 「未来を担う人を育むまちづくり」について

(1) 民間保育施設の園舎改修や多機能子育て支援拠点施設の整備支援などが“点の整備”で終わらないよう、見附市として将来の施設規模（保育関連施設・放課後児童クラブ・子育て支援拠点）の見通しをどのように考えるか、伺います。

(2) 新規事業の「若者交流活躍機会創出事業」は、成果指標（KPI）・到達時期・市と民間の役割分担をどのように設計して進め、市長が期待する成果像を明確にした上で最終的に何をもって成功と考えるか見解をお聞かせください。

3 「安心していきいき暮らせるまちづくり」について

- (1) 今後の地域医療について、診療科ごとの将来推移（医師の高齢化・承継可能性・患者動向・近隣医療圏との補完関係）をどう見立て、どの科目・どの機能を優先して確保していくのか、伺います。

4 「未来に向けた持続可能な市政運営」について

- (1) 構造的な歳出超過リスクを踏まえ、令和8年度の新規・拡大事業の投資判断はどのような基準で行ったのか。また、総合計画の実現と財政健全化の両立に向けた優先順位づけの考え方と、歳出超過が拡大した場合の具体的な対応方針をお聞かせください。

- (2) ふるさと納税の寄付額10億円の目標達成に向けた具体的な戦略と、未達となった場合に歳入をどのようにして補うかお聞かせください。また、ふるさと納税と並行して、企業誘致や税収基盤の強化をどのようなスケジュール感で進める考えなのか、見解をお聞かせください。